



米国公認会計士。税理士法人及び米系企業経理部門での経験を経て、2012年に南インドのチェンナイに移住し、現地でのコンサルティング会社を設立。中小企業の会計・税務アドバイザー等多くの支援実績を持つ。現在はベンガルール在住。

「ユニコーン企業に見る インドのEコマース市場の最新動向」

<Eコマース市場に影響を与えた政策>

2023年から2024年にかけてのインドの国内総生産（GDP）は約3.56兆米ドルに達し、前年比で約9.1%の成長を見せました。国内のスタートアップ企業が急速に増加し、特に111社がユニコーン企業にまで成長したことも国の経済成長に大きく貢献している部分だと考えられます。このような企業活動の活発化は、新しい雇用機会を生み出し、国民の平均所得を押し上げる要因となっています。また、インド政府としては、2015年7月から国策としてデジタルインド政策を開始しており、その政策の中には、インド版マイナンバーである世界最大の生体認証システム「Aadhaar（アダール）」、統合決済インターフェース「UPI」、そして、データ強化と保護アーキテクチャ「DEPA」といった革新的なプラットフォームが含まれています。

<Eコマース市場におけるユニコーン企業3社>

ユニコーン企業とは、「非上場でありながら評価額が10億ドル（約1,500億円）以上のスタートアップ企業」のことを指します。日本においては、2024年現在でおよそ10社程度のユニコーン企業が存在しており、インドのユニコーン企業数と比較すると、インドの将来的な成長可能性が分かるかと思えます。ここでは三つのユニコーン企業を紹介します。

（1）インドEコマース市場を牽引するリーダー 「Flipkart（フリップカート）」

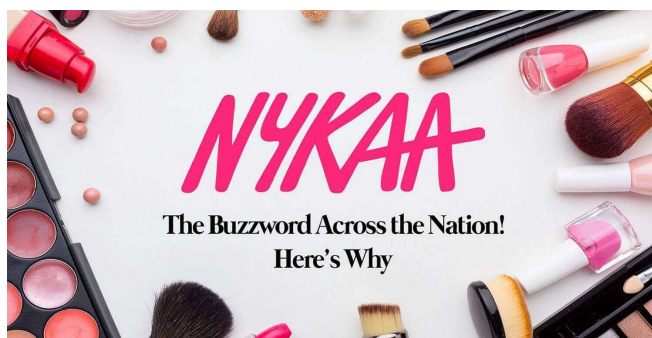
Flipkartは、インドのベンガルールに本拠地を置くEコマース企業であり、インドのオンライン小売市場における主要なプレイヤーの一つです。Flipkartの主な特徴として、使いやすいウェブサイトとアプリ、効率的な物流システム、広範囲に及び商品カタログを提供することで、インドの多様な消費者ニーズに対応している点が挙げられます。

（2）ビューティーやウェルネスに特化した 「Nykaa（ナイカー）」

Nykaaは、2012年にインドのムンバイで設立されたEコマース企業です。この企業は、化粧品や美容製品を中心に、スキンケア、メイクアップ、ラグジュアリープロダクト、香水、ヘアケア、バス&ボディ製品などを扱っており、男性及び女性向けの製品を幅広く提供しています。Nykaaの主要な特徴の一つとして、自社ブランドの製品ラインを持っていることが挙げられます。2015年に始まったNykaa Cosmeticsプロジェクトにより、自社の美容製品コレクションの商品幅は、目、爪、顔、唇などあらゆる美容のカテゴリーに拡大しました。

（3）ベビー用品に特化した「FirstCry（ファーストクライ）」

FirstCryは、インドのプネに本拠を置くEコマース企業で、主にベビー用品の小売に焦点を当てています。2023年6月までの間に、インド全国で900以上のFirstCry及びBabyHug（ベビーハグ）ストアを展開してきました。アジア最大のベビー及びキッズ製品のオンラインストアとも言われており、2023年には200,000以上のユニークな製品、5,800以上のブランドを確立してきました。また、「FirstCry Parenting」というインド最大の親コミュニティでは、月間約1,300万人のアクティブユーザーと総計9,200万人の愛用ユーザーを獲得しています。



（出所：NYKAAのホームページ）